
大王海運、関西・東北間の樹脂輸送モーダルシフト

Edited By LogisticsToday On 2017/09/26

大王海運は26日、関西・東北間の樹脂輸送をトラックからトレーラーへ大型化して運行回数を減らし、泉大津港・千葉港間をRORO船による海上輸送へ転換した取り組みで、国土交通省と経済産業省から改正物流総合効率化法（改正物効法）による総合効率化計画として、荷主の製造会社とともに認定を受けた。

従来は関西から東北までの800キロをトラックで輸送していたが、泉大津港・千葉港間の680キロをRORO船による海上輸送へ、両端の計300キロをトラック輸送する方式へ転換。

トラックからトレーラーへ車両が大型化したことで運行回数を減らし、ドライバーの運転時間は年間60.3%（8586時間）省力化できた。また、CO2排出量も16.7%（160.1トン）削減した。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/300318>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.